



日本チャールス・リバー株式会社 殿



ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストイング株式会社

神奈川県横浜市 金沢区幸浦2-1-13
JP-2360003 Yokohama - JAPAN

分析報告書

検体番号	257-2018-06000177	受領日:	2018.06.15
検体情報:	ホワイトフレーク	分析日:	2018.06.25 - 2018.07.03

重金属	結果 単位	定量限界
JQB06 YP ヒ素(Asとして) 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS ヒ素	<0.1 mg/kg	0.1
JQA81 YP カドミウム 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS カドミウム	0.08 mg/kg	0.01
JQA80 YP 鉛 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), ICP-MS 鉛	0.18 mg/kg	0.05
JQB03 YP 総水銀 分析方法: 衛生試験法・注解 (2010-02-20), HGAAS 総水銀	<0.005 mg/kg	0.005

マイコトキシン類(カビ毒)	結果 単位	定量限界
JP211 YP アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: 食安発0816第2号(2011-08-16)修正版, LC-FLD アフラトキシン B1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン B2	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G1	<0.1 µg/kg	0.1
アフラトキシン G2	<0.1 µg/kg	0.1

微生物	結果 単位	定量限界
UMUP8 DT カビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37 mod., 計数-培養技術 (非光発色培地) カビ	< 10 cfu/g	
UM274 DT 一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 培養法 (非酵素基質培地) 一般細菌数 (30°C)	10 cfu/g	
UMULP DT 大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 計数-培養技術 (発色培地) 大腸菌	< 10 cfu/g	
UMTK5 DT サルモネラ 分析方法: ISO 6579:, 検出-培養技術 (非光発色培地) サルモネラ	陰性 /25 g	

残留農薬	結果 単位	定量限界
JP274 YP ピレスロイドを含む有機塩素系農薬 DDT及び代謝物 (総和)	< 定量限界 mg/kg	
DDT, p,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDT, o,p'-	<0.001 mg/kg	0.001
DDE, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDE, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, p,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
DDD, o,p'-	<0.002 mg/kg	0.002
エンドリン	<0.002 mg/kg	0.002
ディルドリン	<0.001 mg/kg	0.001

試験結果は、依頼主より受け取った試験品目に限定したものです。試験所による承認がない限り、この試験結果報告書の一部を複写して用いることは、禁止されています。



残留農薬	結果単位	定量限界
JP274 YP ピレスロイドを含む有機塩素系農薬		
γ-BHC (リンデン)	<0.001 mg/kg	0.001
アルドリノ	<0.001 mg/kg	0.001
ヘプタクロル	<0.001 mg/kg	0.001
JP278 YP 有機リン系農薬		
ダイアジノン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオン	<0.01 mg/kg	0.01
パラチオンメチル	<0.01 mg/kg	0.01
馬拉チオン (マラソン)	<0.01 mg/kg	0.01

ポリ塩化ビフェニル(PCB)	結果単位	定量限界
JP276 YP ポリ塩化 ビフェニル		
7 PCB測定総計	< 定量限界 mg/kg	
PCB IUPAC 28	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 52	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 101	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 118	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 138	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 153	<0.01 mg/kg	0.01
PCB IUPAC 180	<0.01 mg/kg	0.01

栄養成分	結果単位	定量限界
JP108 YP 乾燥減量		
含水量	7.8 g/100 g	

頭2文字が DT の試験は Inlab GmbH (Dortmund) で分析された試験です。
頭2文字が YP の試験は Eurofins Ecopro Research K.K. で分析された試験です。

(*本報告書は旧報告書 AR-18-JP-001835-01/257-2018-06000177 03/07/2018 を置き換え無効とするものです)

Masako Yoshitake
ASM Manager

***** 以下余白 *****